

平成16年(2004)度特別展

ことのしらべ

— 琵琶法師から当道座へ —

4月29日(祝)～6月6日(日)

吹田市立博物館

大阪府吹田市岸部北四丁目一〇番二号

TEL 06(63338)5500

FAX 06(63338)9886

<http://www.suita.ed.jp/hak/index.html>

開館時間／午前9時30分～午後5時

休館日／5月6日・10日・17日・24日・31日

観覧料／大人500円(400円)

高・大学生250円(200円)

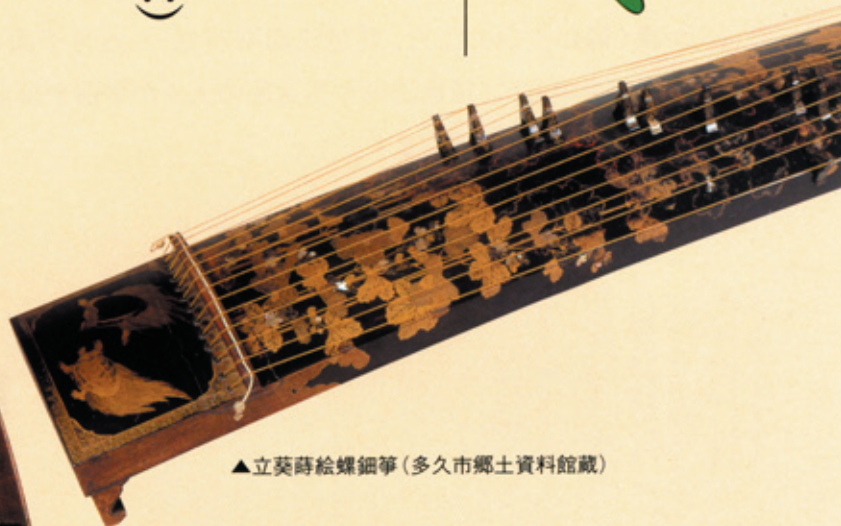
小・中学生100円(80円)

*()内は20名以上の団体割引料金

*土曜日は市内小・中学生は無料

*「国際博物館の日」記念事業として

5月18日(火)の観覧料を無料とします。



▲立葵蒔絵螺鈿箏(多久市郷土資料館蔵)

◆講演会／

- 5月30日(日)午後2時 当館講座室
「琵琶法師と平家物語」 相愛大学教授 砂川博氏
- 6月6日(日)午後2時 当館講座室
「箏・ことはじめ」 滋賀大学非常勤講師 井口はる菜氏

*聴講無料。申し込み不要。先着120名

◆演奏会／

- 5月9日(日)午後2時 当館講座室
平曲(平家琵琶) 演目「那須与一」他 今井校勉氏
- 5月23日(日)午後2時 当館講座室
八橋流箏曲 演目「九段」他 清水良氏 横田裕子氏
川井純子氏 てん・仁智氏

*聴衆無料。

*申し込み／はがきまたはファックスに、演奏会名、住所、参加者全員の名前、電話番号を書いて、同館へ。4月25日(日)必着。定員120名。応募者多数の場合は抽選。

*会期中一部展示替えがあります。

▲楽琵琶 銘箕面(国立歴史民俗博物館蔵)

平成16年(2004)度特別展

ことのしらべ

—琵琶法師から当道座へ—

古来日本においては、琵琶・箏・琴などの弦楽器をすべて「こと」と呼んでいました。これらの弦楽器は中国を起源とし、唐代に日本に伝来し、雅楽や仏教の儀式で演奏されました。さらに、これらの中国渡来の「こと」とは別に日本固有の楽器であるといわれる和琴があります。和琴は「やまごと」とも呼ばれ、古墳などから発掘される出土コトに起源をもつともいわれています。

今回の展示では、「こと」の音楽を紹介し、中世に隆盛した『平家物語』を琵琶の演奏で語る平曲や、江戸時代になって近世箏曲が生まれた経緯をたどります。これらの音曲には、目の不自由な琵琶法師や当道座の人々が深く関わっていました。琵琶法師明石覚一、近世箏曲の祖八橋検校の事績を中心に、琵琶法師や当道座の人々が平曲や箏曲などに果たした役割について紹介します。



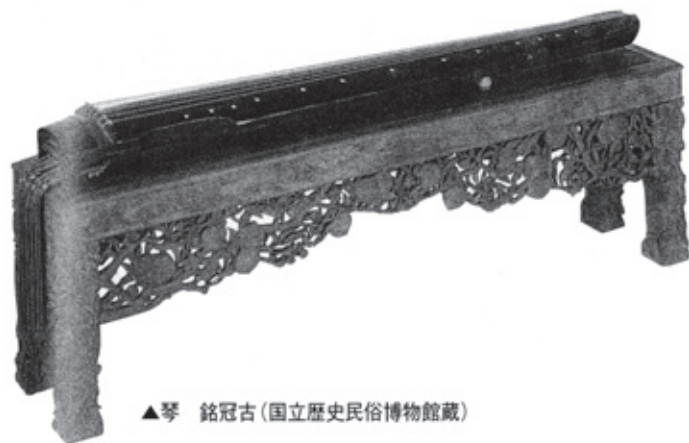
▲七十一番職人歌合絵巻(東京国立博物館蔵)



▲隔賞記(鹿苑寺蔵)



▲琴歌譜(陽明文庫蔵)



▲琴 銘冠古(国立歴史民俗博物館蔵)

交通の案内

- JR吹田駅・阪急千里線吹田駅から
桃山台駅前ゆき・山田樫切山ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩10分
阪急山田ゆき・千里中央ゆきバス「岸部」下車徒歩10分
- JR吹田駅北口から
五月が丘南ゆきバス「五月が丘西」下車徒歩7分
- 阪急千里線南千里駅から
JR吹田ゆきバス②、③系統「佐井寺北」下車徒歩10分
- JR東海道本線岸辺駅下車北西徒歩25分
- 車でのご来館は、佐井寺北・五月が丘方面からお願いします

